

ARIHHP 最新研究成果報告 [No.]

「体」
部門

研究成果タイトル
北極圏でカステラ

研究成果のポイント(概要)

北極圏でも凍らなかつたカステラはいつでも美味しい行動食だった

研究の背景

- たんぱく質の補給ができる行動食がほとんど無い
- 極地の冒険では、運ぶことができる食糧の量・質が限られる。

調査内容と成果

北極圏を目指す冒険ウォーク 2019 (2019. 4. 7 - 5. 5、行程約600km、カナダ北極圏バンフィン島)において、初めて極地に挑む若年男女計 12 人と隊長の冒険家荻田氏による、カステラの行動食としての評価を実施。



<参加者のそのままの声:抜粋>

- ・カステラが本当においしかった。
- ・歩き疲れたときの甘いカステラが本当においしかった。
- ・カステラは人気で、補給後 2, 3 日でなくなった。その日に なくなったテントもある。
- ・カステラが一番感動するほどおいしかった。糖分を欲している体にしました。
- ・カステラは、昼の行動食として歩きながら食べるにも便利だった。
- ・栄養的にも優れた行動食だった
- ・カステラの持参本数は決まっていたが(ので)、仲間同士で好みで交換もしていた。
- ・凍らなかつたので手軽だった 何時でも食べるのができて良かった



写真提供: 荻田泰永遠征事務局



今後の展開

極地などの特殊環境下で有効な事柄は、日常生活を豊かにするヒントの宝庫である。発見を日常に展開できる ような一般化をしていきたい

用語解説 必要であれば

行動食・・・登山やキャンプなどの活動中(移動中、歩行中)に食べる食品のこと